
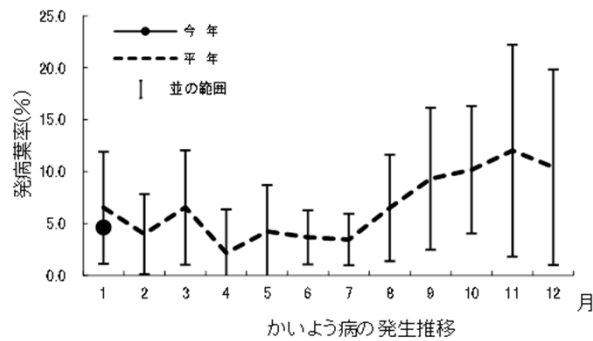


作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
1月の発生量 (現況)	並		
2月の増減傾向	↓		
増減傾向の根拠	発病葉率の平年の発生推移から、1月より発生量は減少すると考えられる。		

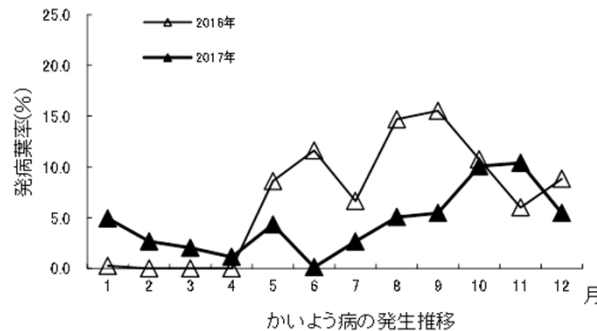
発生量の根拠 (調査結果)

- ・ 1月中旬の調査の結果、発病葉率は4.6% (前年5.0%、平年6.5%) と平年並であった。

(今年のデータ)



(過去2年のデータ)




防除のポイント

- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から侵入しやすい。
- ・ 罹病葉・枝は翌年の伝染源になるので除去する。



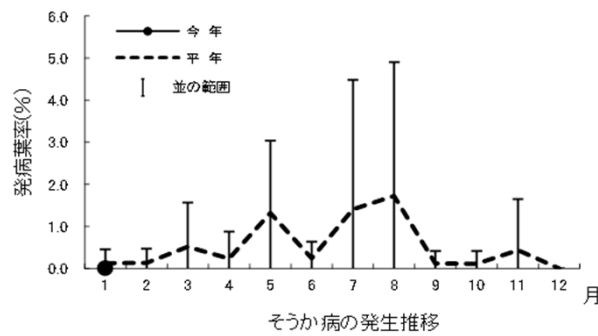
ハモグリガ被害痕からの感染

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	② そうか病		
1月の発生量 (現況)	(発生なし) 並		
2月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	発病葉率の平年の発生推移から、1月と同程度の発生量と考えられる。		

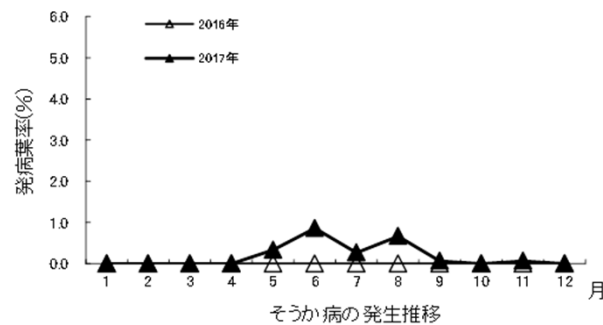
発生量の根拠 (調査結果)

- ・ 1月中旬の調査の結果、発病葉率は0% (前年0%、平年0.1%) と平年並であった。

(今年のデータ)



(過去2年のデータ)




防除のポイント

- ・ 罹病葉・枝は翌年の伝染源になるので除去する。



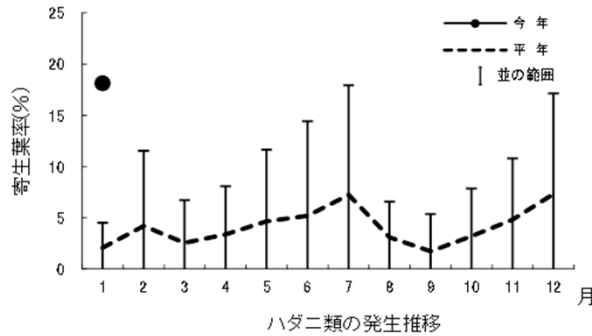
罹病葉

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ハダニ類		
1月の発生量 (現況)	多		
2月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	今後1か月の気温が平年より低い見通しから、1月と同程度の発生量と考えられる。		

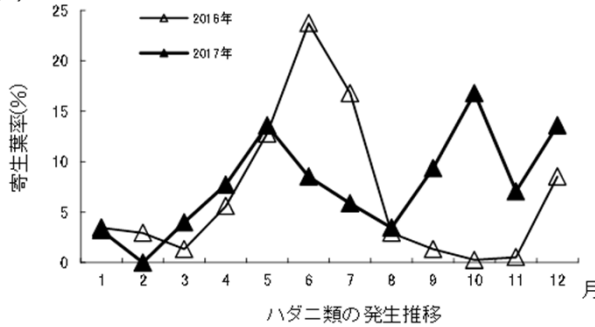
発生量の根拠 (調査結果)

- ・ 1月中旬の調査の結果、寄生葉率は18.1% (前年3.2%、平年2.1%) と平年より高かった。

(今年のデータ)



(過去2年のデータ)



防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状